






LPガスタンクローリの一斉点検結果と法律上の見分け方

1. LPガスタンクローリ一斉点検結果を下表に示します。

年度	2022年度			2023年度		
	登録台数	点検台数	受検率	登録台数	点検台数	受検率
①タンクローリ (含トレーラ)	2,254	2,064	92%	2,240	2,017	90%
②移動式製造設備 (工業用専用バルクローリ)	544	418	77%	463	471	100%※
③充填設備 (民生用専用バルクローリ)	697	478	69%	684	366	54%
④ ②かつ③ (工業・民生用兼用 バルクローリ)	1,330	950	71%	1,434	1,008	70%
①～④の合計	4,825	3,910	81%	4,821	3,871	80%

2. LPガスタンクローリの種類の区分(①～④)が正しく理解されるよう「LPガスタンクローリの法律上の種類」を参考に受検するようお願いします。

LPガスタンクローリの法律上の種類

<p>①タンクローリ (トレーラ含む) <タンクローリ></p>  <p><トレーラ></p>  <ul style="list-style-type: none"> ・容器則による容器検査必要 ・同じく容器再検査必要(5年毎。製造後20年経過以降、製造年度により2年～1年毎) 	<p>②移動式製造設備 =工業用専用 バルクローリ (いわゆる 従来型バルクローリ)</p>  <p>ポンプ・コンプレッサ等 製造設備を搭載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器は1.と同様の検査必要 ・加えて、高圧法の製造許可が必要 ・同じく定期自主検査、保安検査が必要(それぞれ毎年) 	<p>③充てん設備 =民生用専用 バルクローリ (いわゆる 新型バルクローリ)</p>  <p>ポンプ等の充填設備を搭載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器は1.と同様の検査必要 ・加えて、LP法上の充てん設備の許可が必要 ・同じく保安検査が必要(毎年) 	<p>④移動式製造 ・充てん設備 (工業・民生用 兼用バルクローリ)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・従来型バルクローリを民生用に使う兼用 ・高圧法及びLP法両方の規制(一部技術基準を緩和)  <ul style="list-style-type: none"> ・新型バルクローリを工業用に使う兼用 ・高圧法及びLP法両方の規制(一部技術基準を緩和)
--	--	---	--